

# Counseling Room

家庭問題カウンセリングルーム

第122回

公益社団法人  
家庭問題情報センター 山崎 朋亮

## 父親との再会を迷っています

20歳になったA君は、幼い頃に別れた父親と再会するべきかどうか迷い、相談室を訪れました。奨学金を受けて大学に通っているA君は、父と会って弟の進学費用を請求してもよいのか悩んでいます。

**A** 今、父と会うべきかどうか悩んでいるんです。小学4年生頃に会ったきりの父親に、直接会って弟の進学費用を払ってくれと言ってもいいもんかどうか。

そんなことを言ったら拒否されたり、怒り出されたりして、こっちががっかりするのも嫌だし。

**カ(カウンセラー)** あなたの実のお父さんなんですね。

**A** 母と父とは、僕が小学校に入る前に離婚したんです。その後、しばらくは年に何度か会っていた記憶はあるんですが、小学校の4年生頃に会ったのを最後に、全く連絡をとらなくなりました。僕がサッカー教室に通っていたから、忙しくなったことも理由だったと思うんですけど、父親が再婚したとも聞きませんでした。その頃から、養育費をもらえ

なくなつたと聞いてました。

**カ** お母さんは一人の収入で頑張つてこられたんですね。

**A** 祖父母もよく面倒見てくれました。近所に母方の叔父家族が住んでいたのでも、従兄弟もいて、寂しいと感じたことはなかったです。

でも、僕の弟はほとんど父さんの記憶がないみたいで、母さんも父さんの話題は避けているようだったし。だから父さんのことを親戚の中で話題にすることはなかったんです。

**カ** あなたはお父さんのことを話題にできなくて寂しかった？

**A** 父さんのことをたまに思い出すことはあったけど、だけどそれを誰にも言えなかった。

母さんは、昼も夜も働いて頑張つて

きて、決して弱音を吐かない人。だから、僕も母さんを応援しようと思って、高校からバイトをしながら小遣いは自分で稼いできたんです。大学も奨学金をもらって通学しています。できるだけ母さんの負担を軽くしたいと思ってきたんですけど、弟も大学に行きたいと言っているんです。

ですから、父さんが少しでも援助してくれたら、母さんも助かるだろうと思います。それをお願いできたらとも考えてるんです。

**カ** あなたはお母さんを傷つけないようにしながら、お父さんのことも大切に思ってきたんですね。でも、あなたの気持ちを誰にも話せずに頑張ってきたんですね。

**A** 養育費については、公正証書で取り

決めてあると聞いたんです。

でも、母さんからは、再婚したら、どうせ新しい家族の方が大事なんだから、もう当てにしないでちょうだいと言われて、僕もそんなもんなんだと思って、もう父さんのことは忘れた方がいいのかなとも思ってきたんです。

**カ** お父さんのことを忘れようとしてきた？

**A** そう。でも僕が忘れたら、家族で誰も父さんを覚えていてる人がいなくなっちゃうなども感じていて……。

ところが、弟が高校3年になった時に、大学の費用は父さんに出してもらえばいいと言いついてます。母さんは今更らないと言ってます。これ以上、母さんに負担はかけられないし、僕も今のバイトで精一杯だし、弟が奨学金だけで大学を続けることは無理だろうと思うと、やはり父さんに協力してもらえないかなとも思っているんです。

**カ** 弟さんの進学がきっかけなんですか。

**A** ええまあ。でも、実は僕自身がつつと悩んでいたんです。このままずっと父さんとは縁を切ってしまうのが良いのか、息子として父親と再会してみたいという気持ちもどこかにあって……。

それが、弟の学費の話聞いて、急に現実的な悩みになってきたんです。でも、どこで何をしているかも分からないし、もちろん住所も知らないの

まず、何をしたらよいか……。そもそも、会うことが良いのか悪いのか。連絡をして拒否られるのも怖いし。

まして、弟の進学費用を援助してほしいなんて言ったら、軽蔑されないかとも思っています。

**カ** お父さんの反応がどう出るか分からないから、それも怖い？

**A** そうですね。

**カ** ご家族はあなたがお父さんと会うことについては、どう言っているの？

**A** 母さんは僕が会いたいなら会ってもいいと言っています。でも、僕が父さんと会うと母さんが傷つくかもしれないとも思っています。

弟は、自分は顔も知らないから会う気もない、兄ちゃんが会って話をしてくれと言っています。

**カ** あなたは、お父さんに複雑な気持ちを抱きながら成長してきた、しかもその気持ちをずっと一人で抱え込んでこられたんですね。いろんな意味で頑張ってきたんですね。

**A** 母さんが一番頑張ってきたんです。

でも、母さんが一人で頑張り過ぎず、意地を張らずに、ちゃんと父さんから養育費をもらってくれるようにしていれば、生活も楽だったろうし、僕も気軽に父さんに会えていたかもしれないなとも思っています。でも、それを母さんには言えなかった。

**カ** この機会にお父さんと会ってみよう

と決めた場合と、会わないと決めた場合とで、どちらが悔いを残すことになるでしょうね。

**A** そうですね……。会わないでいた方が後悔するかもしれないですね。でも、会って落胆するのも怖い。

それにどんな会い方をすれば良いか難しいなど。

**カ** まずは、あなたの気持ちを決めることとしてどうね。

その上で、会うために連絡を取るのであれば、住所を調べる方法や連絡の取り方、どんな手紙を誰当てるに書けばよいかなど、一緒に考えることはできると思います。

**A** 分かりました。悔いが残らないようにするにはどうすればよいか、もう少し考えてみます。

Aさんは、カウンセラーと話すうちに自分の気持ちが次第に整理できてきたようです。父子の交流が養育費とともに途絶えた後、Aさんは一人で父子関係の悩みを抱えてきました。弟の進学をきっかけに、父子関係を復活するかどうか、大切な岐路がやってきたようです。

具体的に心配な点を自覚できるようになったAさんの背中を、そっと支えるように見送りました。

